語ろう人権　家庭で地域で

心の輪

アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）を克服しよう

問人権政策課（☎5722－9214、FAX5722－9469）

日常にあふれるアンコンシャス・バイアス

アンコンシャス・バイアスとは、無意識の偏見などと訳される概念です。例えば、男性は仕事をして家計を支え、女性は家事育児をすべき、男性は人前で泣いてはいけない、がんになったら働けないなどが典型です。買い物に来た車椅子の当人でなく、付き添いの人に向かって接客する店員など、アンコンシャス・バイアスが引き起こす日常の事例には事欠きません。

どうせ無理だ、普通は○○だ、○○であるべきといった偏見は、不公平な評価でやる気をそぎ、可能性を狭め、人間関係のあつれきをも生じさせかねません。偏ったものの見方でいることは、自らの能力を発揮して豊かな人生を送る上での妨げにもなります。

気付くことは重要なリスク管理

ものごとをパターン化して認識すること自体は、必ずしも悪いものとは言い切れません。思考の無駄が省ける場合もあります。

しかし、自分だけが正しいとの思い込みによる言動が、人を傷つけ、差別になってはいけません。また、組織にとっては、リスクになります。幹部がズラリと男性ばかりの組織から発信される暗黙のメッセージは、多様性の否定に結びつき、アンコンシャス・バイアスを横行させ、人材流出や信用失墜、倒産などの重大なダメージを被る原因となります。男女共同参画が進まない要因の一つでもあり、社会全体に大きな損失を生むことは、想像に難くないでしょう。アンコンシャス・バイアスに鈍感な組織は、今や社会的な信用を得られません。

人と対話する姿勢を徹底しよう

環境やインターネットからの影響などにより、いつの間にか植え付けられた偏見や差別意識は、実は誰にでもあります。

多様性を認め合う社会の実現に向けての第一歩は、自分の内に潜むアンコンシャス・バイアスにしっかり目を向けることです。普段から先入観を持たずに人の話を聞き、対話する姿勢を徹底することが、解決の早道かもしれません。

一人一人が生き生きと活躍できる社会に、少しずつ近づけていきませんか。

成年後見制度をご活用ください

問権利擁護センター「めぐろ」（☎5768－3964、FAX5768－3965）

成年後見制度は認知症や障害などにより判断能力が不十分なかたの財産や権利を守り、支えるための制度です。

制度には2種類あります

法定後見制度

既に判断能力が十分でないかたを法的に支援し、権利や財産を守るための制度です。本人の判断能力に合わせて後見・保佐・補助の3つの類型があります。

任意後見制度

判断能力が低下する前に、将来に備えて自分で代理人（任意後見人）を選び、公正証書によって生活や財産管理に関する契約を結んでおく制度です。

後見人の役割とは

後見人は、本人に必要な支援の内容により、家庭裁判所が選任します。親族のほか、弁護士などの専門職が選任されます。

身上保護

介護契約や施設入所契約など、本人が安心して生活できる環境を整えます。

財産管理

本人の資産や収支を把握し、適正かつ計画的に資産を維持します。

成年後見人などへの報酬を助成します

後見人などへの報酬は、家庭裁判所が業務内容や被後見人の資力に応じて決定し、被後見人が支払います。

報酬の支払いが困難なかたは、報酬を助成する制度を利用することができる場合があります。要件などの詳細はお問い合わせください。

スプレー缶などのごみの出し方にご注意ください

問清掃リサイクル課計画普及係（☎5722－9883、FAX5722－9573）、清掃事務所作業係（☎3719－5345、FAX3719－5064）

清掃車の火災事故などの原因となりますので、スプレー缶、ライター、カセットボンベを処分する際は十分にご注意ください。安全な収集作業のため、ごみの分別にご協力お願いします。詳細は区HP（コード❶）をご覧ください。❶

スプレー缶、ライター、カセットボンベの出し方

次のルールを守って、燃やさないごみの日にお出しください。

1. 中身を使い切る
2. 他の燃やさないごみとは別の袋に入れる
3. 「危険」と書いて出す

スプレー缶やカセットボンベに穴を開ける必要はありません。

災害時要配慮者防災講演会

災害時も平時も安全安心な地域をつくる

～誰ひとり取り残さないために

問健康福祉計画課要配慮者支援係（☎5722－9689、FAX5722－9347）

災害時に、自力で避難することが困難な、高齢者や介護が必要なかた、障害のあるかたなどを、災害時要配慮者といいます。配慮が必要なかたを守るために知っておきたい、日頃からの地域での見守りや交流の大切さ、避難支援の方法、防災対策などをお話しします。

時3月21日（祝）14：00～16：00
場総合庁舎本館1階E会議室
師跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授　鍵屋一氏（上写真）
定①会議アプリWebex（ウェベックス）でのオンライン=90人②会場での対面講演=10人（各先着）
申①は専用HP（コード❷）、②は電話、FAX（講座名、住所、氏名、電話・FAX、Eメールアドレスを記入）で、2月15～3月10日に、健康福祉計画課要配慮者支援係（☎5722－9689、FAX5722－9347）へ ❷

人口（住民記録者数）【前月比】	278,677人（うち外国人＝9,773人）【42人増】	男＝131,390人	女＝147,287人	世帯	158,008世帯※いずれも2月1日現在